

2013-B					
拠出金・基金の名称		国際開発教育・研究機関拠出金			
種別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
【拠出先の国際機関名】アジア工科大学院 (AIT)					
【所管官庁担当局課・室名】外務省国際協力局国別開発協力第一課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】					
<p>アジア工科大学 (AIT) は、工学・技術部、環境・資源・開発学部等の修士課程及び博士課程を有するアジア地域トップレベルの大学院大学である。</p> <p>我が国の拠出金は、ASEAN地域における経済開発に不可欠な工学系の人材育成のため、AITにおいて日本奨学金として管理され、邦人教官が教鞭をとるリモートセンシング分野の学科の学生に対して奨学金として支給される。</p> <p>AITのリモートセンシング学科は、邦人教官が中心となり、JAXAや東大との協力関係により実施されており、日本の技術や機材、人工衛星システムを活用した同分野の技術者の育成を実施している。</p>					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率 (%)
平成25年度	22802	278063	—	1米ドル = 82円	100%
平成24年度	12,442	153595	—	1米ドル = 81円	100%
平成23年度	0	0	—	—	—
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】					
<p>我が国は、「ASEAN防災ネットワーク構想」を表明しており、本事業を通じたリモートセンシング分野の人材育成は、ASEANとの連携・防災ネットワークの構築に資するものとしても支援を行う意義がある。また、日本の衛星システムに精通した人材が、ASEAN各国、国際機関及び日本企業や研究機関で活躍することが期待され、将来当該技術を活用する際には日本製の機器の導入等も期待される。</p> <p>これまでに我が国の奨学金により900名以上の工学系人材が育成されており、また、AITでは日本人教官が教鞭をとっていること、我が国からの奨学金が親日感情向上に繋がることから、ASEAN地域の発展に貢献する「日本の顔が見える」国際機関である点として評価できる。</p>					